

2011年ABAC第2回ソウル会議ニュースリリース【仮訳】

APECビジネス界のリーダーはSME支援とFDI促進のための行動をとるよう求める 貿易担当大臣にアジア太平洋自由貿易圏(FTAAP)構築と WTOドーハ・ラウンド妥結に向けた措置を直ちにとるよう要請

[韓国 ソウル]2011年4月28日—

APEC 21カ国・地域のビジネス界の代表は本日、APECの貿易・投資問題の重点課題に関する提言を発表した。これらの提言は、APEC貿易担当大臣会合、APEC中小企業大臣会合が、5月19日から21日までの間に米国・モンタナ州ビッグスカイで開催されるのを前に、正式に提出される。

ABACは、1) 金融上のアクセスの欠如、2) 国際化能力の欠乏、3) 透明で開かれたビジネス環境の欠如、4) 知的財産権が保護されないこと、を中小企業にとっての国境を跨る貿易における四大障壁として特定し、大臣への提言を行う。

「APEC全体では、SMEが全企業数の90%に上り、労働人口の約60%を雇用しているが、輸出は約30%に過ぎない。APECのSME担当大臣はこれらの企業が国境を超えるための強力な支援策を講じることが重要である」とAPECビジネス諮問委員会議長でP&Gアジア・グループ・プレジデントのデブ・ヘンレッタは述べた。

ABACはまた、海外直接投資(FDI)の拡大の加速に向けた行動に特に注力すべきであると指摘するとともに、域内のFDIの回復の遅れに取り組むよう大臣に要請する。そのためには、投資に関する法・規制環境の予見性、透明性、効率性を向上させ、効果的な優先認可プロセスや紛争解決メカニズムを整備する必要がある。

ABACは、APEC貿易担当大臣に対し、アジア・太平洋自由貿易圏(FTAAP)の構築による、より大きな地域経済統合に向けた具体的な措置を講じるよう要請する。ABACは、FTAAPに向けた措置の主要な目的は、この地域のより多くのビジネスが行いつつあるように統合サプライチェーン及びバリューチェーンの稼働性を向上させることであるべき、と提言する。アイデアのインキュベーターとして、APECは、競争力、ビジネスの利益をより高め、企業が一層在庫管理を改善し消費者により安価な供給を行うために、妨げるものや乗り越えるべき障壁を特定する重要な役割を担っている。

世界貿易機関のパスカル・ラミー事務局長がグローバルな貿易交渉の進捗にもかかわらず、非農産品市場アクセス交渉における隔たりが事実上進展を妨げ、年内の交渉妥結に深刻な疑念が生じていると警告した直後の今週、APECビジネス諮問委員会は、ソウルで会合をもった。ABACはドーハ・ラウンドの失敗を憂慮し、APECに対し、先般の状況調査で特定された隔たりを埋めることに注力し、野心的で商業的に意味のある成果がもたらされるよう交渉当事者に対応力を与えるよう強く求める。